

砂防事業による効果 (桜島 野尻川砂防堰堤群)

災害発生日 : 令和7年8月8日

降雨状況 : 連続雨量 114mm(8月7日18時~8日9時)

時間最大雨量 27mm(8月7日18時~8日9時)

※野尻川雨量観測所

発生箇所 : 鹿児島県鹿児島市野尻町野尻

発生状況 : 砂防堰堤等の整備が完了し、国による管理を行っている野尻川において、低気圧と前線による大雨(S58同規模の降雨)により土石流が発生したが、上流の砂防堰堤や床固工、そして下流の溪流保全工が効果を発揮し、土石流が川から溢れ出ないように、流路内を通して海まで安全に流下させた。これにより、下流地区への被害や、鹿児島市中心部と桜島を航路で結ぶ港への重要なアクセス道路である国道224号(緊急輸送道路)への被害を未然に防止した。

位置図



【土石流発生前】



【土石流発生後】



土石流は整備後の流路内を安全に流下

整備後も毎年の土石流で大量に土砂が堆積しているところであり、国土強靱化5か年加速化対策等により除石を実施し被害防止に寄与

全景

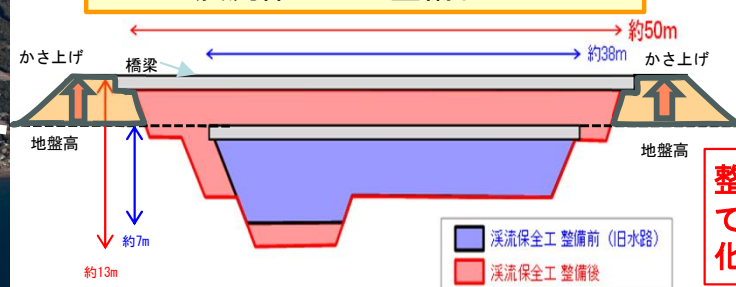


【参考】S58 野尻橋で氾濫した土石流 (溪流保全工整備前) 日雨量 101mm/日 時間最大雨量 35mm/h



流路断面を大きくし 土石流を安全に流下

溪流保全工の整備イメージ



※本資料の数値は速報値及び暫定値であるため、今後の調査結果等で変わる可能性があります。